

御卒業おめでとうございます

さつきやま魂

崎山中学校だより
3月17日 第20号
文責 校長 山下



三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、義務教育九年間の修了ということで、感慨もひとしおのことと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、卒業証書授与式への入場者規制をさせていただきました。本来ならば、多くの来賓の皆様はもちろん、地域の方々にも来校していただき、同じ空間で巣立っていく卒業生のお祝いをしていただきたかったです。だけに、本当に申し訳なく思います。

また、時間短縮のため、教育委員会告辞、来賓祝辞(五島市長様、PTA会長様)の文章での提示、式辞及び送辞の内容短縮をさせていただきました。

卒業生一人ひとりへのメッセージもありますので、ぜひ後ほどご覧ください。

下に、東井義雄さんの著書「自分を育てるのは自分」の中から「心のスイッチ」という詩を紹介しています。人は多くの可能性を秘めています。その可能性を信じて、「心のスイッチ」を入れるのは誰か。家族や友だち、先生が助けてくれるかもしれませんが。偶然入ることがあるかもしれません。しかし、やはり「心のスイッチ」入れるのは自分自身なのです。どうやったら入れることができるか。それは、しっかりとした夢や目標を持つこと、そして、勇気を出して一歩前に進むことだと思います。「心のスイッチを入れるのはいつ?」「今でしょ!」



心のスイッチ

人間の目は ふしぎな目
見ようという心がなかつたら
見えても 見えない
人間の耳はふしぎな耳
聞こうという心がなかつたら
聞いていても 聞こえない
頭もそうだ はじめから
よい頭 わるい頭の
区別があるのではないようだ
「よし、やるぞ!」と
心のスイッチが入ると
頭も 素晴らしいはたらきを
しはじめ
心のスイッチが 人間を
つまらなくもし
すばらしくもしていく
電灯のスイッチが
家の中を明るくし
暗くもするように

東井義雄

『自分を育てるのは自分』より

